

愛媛県老人クラブ連合会会長表彰者

県内市町老人クラブ連合会が参加する第58回愛媛県老人クラブ大会が、9月6日(木)、ひめぎんホール(松山市)で開催されました。大会では、高倉純一県老連会長のあいさつがあり、老人クラブに貢献した個人、団体などに対する表彰が行われました。大洲市からは、次の個人および団体のみなさんが表彰されたので紹介します。なお、各老人クラブでは、みなさんの加入を心より歓迎しています。

【活動功労者】

河野 美治 さん (肱川 中央)

森川 純行 さん (長浜 白滝)

山内 晴夫 さん (大洲 市木)

【優良介護者】

寺岡 福男 さん (肱川 大谷)

【会員増強クラブ】

沖浦肱風会 (長浜支部)

肱南第二長寿会 (大洲支部)

下須戒末広会 (長浜支部)

長浜鶴亀会 (長浜支部)

平地上鶴寿会 (大洲支部)



秋の風を感じながら ～いもたき初煮会～

大洲のいもたきシーズン開幕となる秋の風物詩「いもたき初煮会」が9月7日(金)、緑地公園で開催されました。

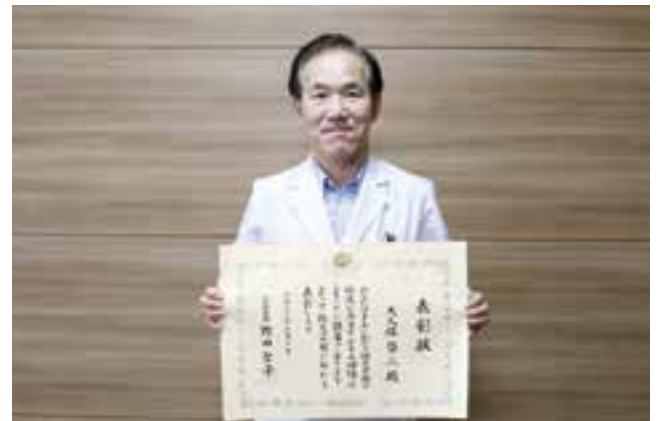
今年は降雨の予報のため、ステージイベントは中止になりましたが、大鍋で作られた1,000人分のいもたきが無料で振るまわれました。会場に集まった多くのみなさんは、300年の歴史を誇るいもたきをおいしそうに頬張っていました。



救急医療の発展に貢献

平成30年度救急功労者表彰式が、9月10日(月)、東京都内のホテルで開催され、大洲中央病院の大久保啓二院長が表彰されました。大久保さんは、病院搬送後における救急研修体制の確立に尽力し、救急業務の高度化に大きく貢献したことが評価されました。

大久保院長は、「突然のことで驚いたが、とてもうれしい。地域医療の問題を、これからどうするのか、しっかりと考えていきたい」とあいさつしました。





今年度、数え年で100歳を迎える市内の長寿者を祝い、より一層の健康増進を祈念するために、9月26日(水)、二宮市長と関係者が対象者の自宅や施設を訪問しました。

この顕彰は毎年行っているもので、今年対象となる長寿者は、市内に17人います。

対象者のひとりである、肱南地区在住の渡邊富子^{とみこ}さんを訪問した二宮市長は、「高齢者の元氣な姿は、私たちの力になります。これ

ご長寿おめでとございませす
平成30年度数え年100歳訪問



からも元氣で、より長生きしてください」と話しました。

ぶどう酒が特に好きという渡邊さんは、「天氣が悪くなければ、毎日散歩をしています。太陽に当たり、景色を眺めるのが毎日の楽しみです。自分のことは、なるべく自分でするように心がけて生活しています。今日はこのようにお祝いでいただき、ありがとうございます」と笑顔で話していました。

今後大洲市では、高齢者に住み良いまちづくりに取り組んでいきます。

今シーズンもありがとウ ～鶺感謝祭～

平成30年度のうちシーズンが終了し、活躍した鶺を労う鶺感謝祭が、10月3日(水)、肱北河原で行われました。

今年で61年目を迎えた大洲のうちシーズンは、平成30年7月豪雨により乗船場などが被害を受け、一時休止に追い込まれましたが、約1カ月後の8月7日(火)より再開しました。

参加者は、来年のうちの盛況を祈願しながら、鶺にえさを与えました。



青年海外協力隊員表敬訪問

平成30年度青年海外協力隊第2次隊の一員として、大洲市柚木出身の梶谷沙紀^{さき}さんが南アメリカのエクアドルに派遣されることになりました。

派遣期間は、平成30年11月からの2年間で、主にトロンカル市役所に所属し、現地の小中学校で環境教育を行います。

9月18日(火)に市役所を訪れた梶谷さんは、「エクアドルでは、ゴミのポイ捨てが頻繁に行われている。教育を通して、環境問題の意識づけを行いたい」と意気込みを語りました。



大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

【今月のクイズ】
 青年会議所が行う、おまつり村。平成30年開催は、第何回の開催でしょうか。

① 22回
 ② 29回
 ③ 36回



毎年、11月3日（文化の日）は青年会議所主催のおまつり村が開催されます。
 今年は、スペシャルゲストに五代夏子さんを迎え、花火が打ち上げられる予定です。
 おおず浪漫祭も同時に開催され、大洲全体がお祭りムードになります。平成最後のおまつり村を楽しみましょう。

※今月号のクイズの答えは、広報おおず12月号に掲載します。



【10月号のクイズ解答・解説編】
 O級グルメコンテストで豚と栗をマッシュングした料理名は何でしょうか。

① とんくりまぶし
 ② 大洲産の栗と豚どんぶり
 ③ 豚丼 with 甘栗

正解：①
 解説：このメニューの開発者は、鹿野川荘の菊地料理長です。栗焼酎を使った料理を作ろうと試行錯誤していく中で、地元産にこだわりたいという思いから、地元産の豚肉と栗をマッシュさせた「とんくりまぶし」が誕生しました。鹿野川荘と油屋で食べることができません。

野鳥

オオカワラヒワ
 (大河原鶉)
 スズメ目アトリ科
 全長 16cm




秋になると、大陸から越冬するためにやって来る小鳥です。国内で繁殖しているカワラヒワに比べ大型で、色合いも少し異なり、グレーに近い頭部と翼の白い部分が特徴です。
 年により増減はありますが、刈り取りの終わった水田地帯に大群で現われます。そして、極寒期には小群れになり、河川敷のヤブカラシや雑草の実などをついばみます。アトリの仲間は種子の中身を食べるため、種子散布ができないように思われがちですが、アトリの体にくっ付けて運んでもらったりしています。自然界は、その種だけが優位になって他の生き物を激減させることがないように、微妙なバランスの上に成り立っていることが分かります。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト⑤

文化財

豊茂三島神社のイチヨウ
 市指定天然記念物
 三島神社所有



豊茂三島神社の境内には2本の巨樹があり、拝殿に向かって左側にカヤ（市指定天然記念物）が、右側にイチヨウがそびえています。このうちイチヨウは、樹齢約400年を数え、樹高は約30mを誇ります。樹高が30mにもなる樹木は、市内の天然記念物での例はわずかしがなく、非常に大きいというのが特徴です。
 この木のある三島神社は、平治元（1159）年に社殿を造営したとされ、かつては上土谷村（豊茂）、下土谷村（穂積）の村社でもありました。
 由緒のある三島神社とともに歩んできたこの木は、市内有数の巨樹であり、一見の価値がある1本です。

(昭和46年3月30日指定)